



1 月度正副会頭定例記者会見配布資料

平成20年1月18日

大阪経済記者クラブ会員各位

「原油1バレル＝100ドル時代を乗り切るアクションプログラム」 策定・実施について

【お問合先】

大阪商工会議所 経済産業部（中川）

TEL 06-6944-6304

- 大阪商工会議所は、原油先物相場が1バレル100ドルを超すという未曾有の事態を受けて、会員企業への情報提供、並びに省エネ機器の導入等を通じた経営安定に寄与する目的で、独自の行動計画（「原油1バレル＝100ドル時代を乗り切るアクションプログラム」）を急遽策定し、集中的に事業を実施する。
- 原油のみならず幅広い原材料価格の高騰により、多くの企業が悪影響を受けていることから、本アクションプログラムを通じて、情報提供やサポート体制の充実を図る。
- 本アクションプログラムは、主に次の3つの事業で構成する。
 - ＜1＞原油高対策緊急セミナー「1バレル＝100ドル時代の対応策」の開催
 - ＜2＞「バーチャル版省エネ提案見本市」の実施
 - ＜3＞会員企業を対象とした影響・ニーズ調査、緊急要望の取りまとめ既に本会議所内に設置する「原油高対策特別相談窓口」における経営相談などと併せて、原油高騰による悪影響の緩和に取り組む。

【アクションプログラムの概要】

＜1＞ 原油高対策緊急セミナー「1バレル＝100ドル時代の対応策」の開催

日 時：2月25日（月）14：00～17：00

場 所：大阪商工会議所7階 国際会議ホール（定員700名）

対 象：主に中堅中小企業（参加費：無料）

プログラム：

（第1部） 基調講演 （14：00～15：30）

「1バレル＝100ドル時代の到来！～今後の原油価格のゆくえ」

【講師】丸紅経済研究所 所長 柴田 明夫 氏

（第2部）各種支援策・省エネ事例の紹介 （15：30～17：00）

① 「原油価格高騰等に係る国の中小企業対策について」

【講師】経済産業省（近畿経済産業局）

② 「省エネルギーに向けた支援・対応策について」

【講師】財団法人省エネルギーセンター 教育部長 原 正幸 氏



＜２＞「バーチャル版省エネ提案見本市」の実施

概 要：オフィスや工場等事業者向けに、最新の省エネ機器や省エネシステムについての提案をインターネット上で募るもの。本会議所が運営する「ザ・ビジネスモール」（全国の商工会議所・商工会の会員３０万件の企業情報データベース）上に「バーチャル版省エネ提案見本市」を設置し、中堅中小企業に対する各種省エネ機器・システム類の紹介・導入の一助とする。

実施期間：１月１８日～３月３１日

掲載対象：「ザ・ビジネスモール」に参加する商工会議所・商工会の会員企業

＜３＞ 会員企業を対象とした影響・ニーズ調査、緊急要望の取りまとめ

①原油高の影響や対応状況、並びに要望やニーズなどを幅広く把握するため、アンケート・ヒアリング調査を実施する。

（調査期間：１月１６日～２４日／調査対象：会員企業約２５００社）

②上記調査で把握した企業の実態やニーズなどを取りまとめ、緊急要望として建議する。

（建議時期：２月中旬）

③上記調査を通じて、中堅中小企業が導入可能で効果的な原油高対策や省エネ事例などがあれば、機関紙「大商ニュース」や「大商メールマガジン」等で広く会員企業に紹介する。

＜その他＞「原油高対策特別相談窓口」の設置（実施済み）

場 所：大阪商工会議所 本部経営相談室内並びに市内１０支部に設置

内 容：原油高等に伴う対応策や資金繰り悪化に対する経営相談

対 応：政府系金融機関等による中小企業向けのセーフティネット融資の斡旋や政府の各種支援施策の紹介など

以 上